

令和2年度 第2回運営委員会議事録

■日時：令和2年5月12日（火）14:00～16:00

■手法：Skype 音声会議

■参加：鈴木勝行、宮崎弘子、渡邊勇、山本実穂、佐藤英人、廣川千恵子
オブザーバー参加：山本悦男

■議長：鈴木勝行

■書記：宮崎弘子

■資料：次第

■議題

1. 総会議案書の送付及び今後の手続きについて

大熊様にすべての事務手続きをお願いする。（大熊様、了解済み）

2. 2020年度の今後の標識放流調査について

（1）金澤氏からの以下の要請がありました。（鈴木）

① 浅間堰土地改良区の了解を得てください。期間は6月末まで。

➡名細水利組合に電話連絡して、了解を得る。（鈴木）

② 浅間堰に入る川越橋上流の鍵を借りてください。期間は11月まで（寺山堰調査に入ることもあるので）

➡国交省の入間事務所に、金澤さんに受け取りに行ってもらおう。必要ならば当会よりも同伴をする。（佐藤）。その後の調査で、鍵は現地の管理事務所にあることがわかり、15日に借りに行くことになった。（鈴木）

③ 浅間堰の堰板を現地に手配してください。昨年同様に15日から使います。

➡昨年と同様に20枚ほど（画像で確認）を、水利組合が堰板を設置する15日に入れる。

（山本悦男）

④ 土嚢袋（20袋位）とスコップを手配してください。

➡スコップは菅間堰においてあるので、自宅のものを持っていく。（山本悦男）。土嚢袋は13日に購入する。（鈴木）

⑤ お願いしてある菅間堰の堰板を手配してください。

➡浅井さんに対応をお願いし、了解を得ている。浅井さん、金澤さんの二人で対応してもらおう。

（2）鑑札の購入について

① 6月1日から友釣り調査を開始するので、6月までに入間川漁協の鑑札（3枚）を購入する。金澤さんに依頼する。

② 7月までに埼玉西部漁協、武蔵漁協の鑑札と地曳網料を購入するかどうか今後状況を見ながら検討する。

（2）浅井さんからのメール「浅間の魚道ですが、土嚢などでは無理だと思います。鉄の梯子を架けたほうが早いと思います。10万円以下でできるかと思います。」について

➡土嚢の設置は大変なので、検討の余地はある。ただし、実行するとなると水利組合の許可が必要なのではないか。今春はあきらめて来年度に向けて準備をしていきたい。

3. 2020年度の一斉水質調査の期日と方法について

- ・全国水環境マップ実行委員会の進め方について再確認をした。
- ・「全国」では7月31日までに提出のあったデータについて、全国のマップに反映することになるので、当会では7月20日までに当会に提出のあったデータについては「全国」に送付する。
- ・なお、当会としては、9月末までに提出のあったデータについては、当会の「荒川流域一斉水質調査マップ」に反映する。（マップ印刷は1月末を予定）
EC測定については、可能なところは実施する。

4. 魚捕りイベント 開催について

6月後半に実施について検討・決定をする。

ただし、実施可能な場合も、広域での一般公募は行わない。

5. その他

比企自然学校から借用している高坂の倉庫について、借用料48,000円を送金（5/11 宮崎）、契約書を送付した。（5/13 宮崎）

◆次回 令和2年度 第3回運営会議

日時：2020年6月17日(水)14:00～

場所：Skype 音声会議手法

以上